

## Dream Project for 2016-2020

「リオと東京五輪が繋ぐ、奥深い日本文化の世界への発信」

リオ五輪 ジャパンハウスでの国宝縄文火焰型土器展示と

東京五輪聖火台を縄文火焰型土器紋様で飾ることの提唱

日本列島文化の原点とも云える縄文文化。今から約 5000 年前（縄文時代中期）の燃え上がるような縄文火焰型土器の芸術品が日本一雪深い地中からほぼ形を変えることなく、多数出土される新潟県十日町市・津南町。今は世界最大規模の現代アート野外美術館（妻有大地の芸術の里）でもある。そこには、現代と太古の文化・芸術が何気なく人々の暮らしの中に生きている。ロマンと奥深い日本がある。

2015 年は日本ブラジル（日伯）友好通商条約締結 120 周年を迎えた。本年 2016 年はブラジル「リオデジャネイロ五輪（リオ五輪）」そして 2020 年東京五輪に続くこの期間は、新たな日伯交流を築くまたとない機会である。同時に、両国が手を携えて共に世界に発信する機会でもある。日本にとっては、世界の統治秩序に変容兆候がある中で、新たな存在感構築への道が求められる。世界での存在感構築の根幹をなすものは国際的な尊敬と信頼である。深い歴史や文化への認識の積み重ねはその構築の一翼を為す。また、ブラジルはその構築のためにも大切なパートナーと云える。

約 5000 年前太古の日本列島に芸術性の非常に高い縄文火焰型土器とそれらを日常化した高い文化が存在したことについて、世界での認識は非常に低い。一般的に日本文化として世界で知られているのは、神社仏閣、歌舞伎、茶道、伊万里、浮世絵等などではないだろうか。約 2 万年前からの縄文時代と 5000 年前に出現した物語性の高い縄文火焰型土器と文化は、奥深く特徴ある日本を世界に知らせしめる価値を十分に備えている。二つの五輪は、この価値を世界に発信する又と無い機会と捉えて、以下に提唱する。

### 1. ブラジル 「リオ五輪」に関して

#### ① 国宝縄文火焰型土器（ワリカ）をジャパンハウス メインホールでの展示

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（東京五輪組織委員会）がリオに主管設営するジャパンハウスでの文化五輪にて、東京五輪と繋げての奥深い日本文化の世界への発信と認識を高める。



#### ② リオ五輪閉会式での大スクリーンメッセージでの国宝縄文火焰土器の映写

「Next to Tokyo」のメッセージに合わせて火焰土器画像の映写をブラジル政府とリオ五輪組織委員会に折衝する。また「From Rio de Janeiro」のメッセージ

に合わせては、リオデジャネイロ国立博物館常設展示のブラジル古代(約4世紀)の「マラジョアラ土器」画像映写を働き掛ける。ブラジルの古代文化の世界への発信と双方の古代文化を通じての日伯の文化交流深化にも繋げる。

## 2. 東京五輪に関して

### ① 国宝縄文火焰型土器の聖火台モチーフへの採用

リオ五輪から東京五輪につながる火焰土器を通じての奥深い日本文化の世界発信を一層高める。また、両五輪を通じての縄文火焰型土器が取り上げられることで、関連イベントも増加し国内的にも奥深い日本文化への認識を高めることにも繋がる。

② 聖火リレートーチに火焰土器とマラジョアラ土器紋様も考慮したデザイン採用  
奥深い日本文化の世界への発信に加えて、未来の大切な戦略的パートナーブラジルとの交流深化に繋げる。

③ マラジョアラ土器の東京での展示会開催をブラジル政府に働き掛ける

以上

2016年1月吉日

### 国宝縄文火焰型土器で奥深い日本文化発信推進の会世話人(順不同)

原田明夫(弁護士、一財) 日伯経済文化協会評議委員)

絹谷幸二(画家)

関口芳史(新潟県十日町市長)

栗田政彦(一財) 日伯経済文化協会代表専務理事)

事務局: 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢6丁目29-1 日伯経済文化協会気付け

Email [info@anbec.or.jp](mailto:info@anbec.or.jp) Tel 090-6032-7686, 03-5706-9870